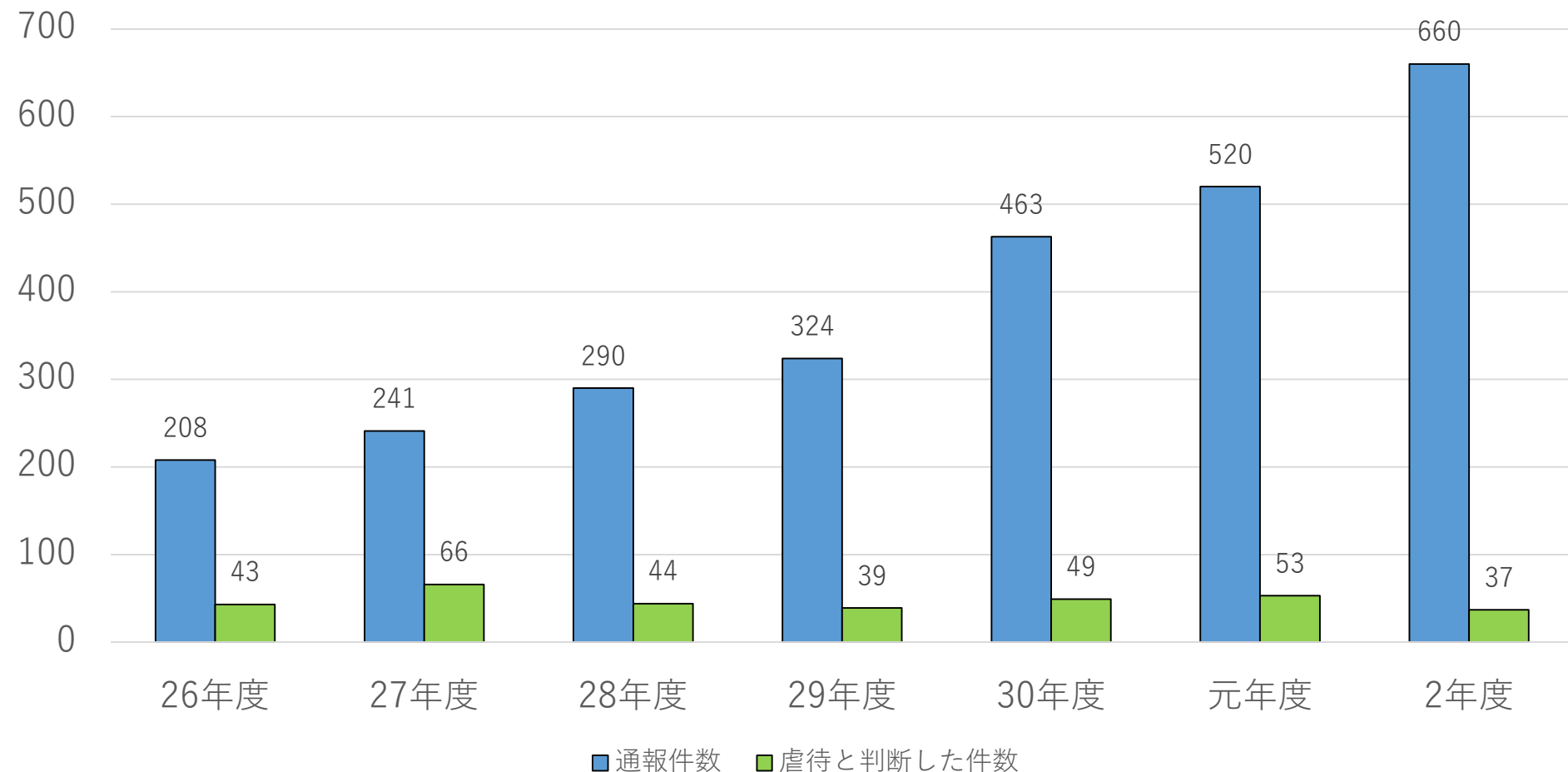


令和2年度 障がい者虐待の対応状況について

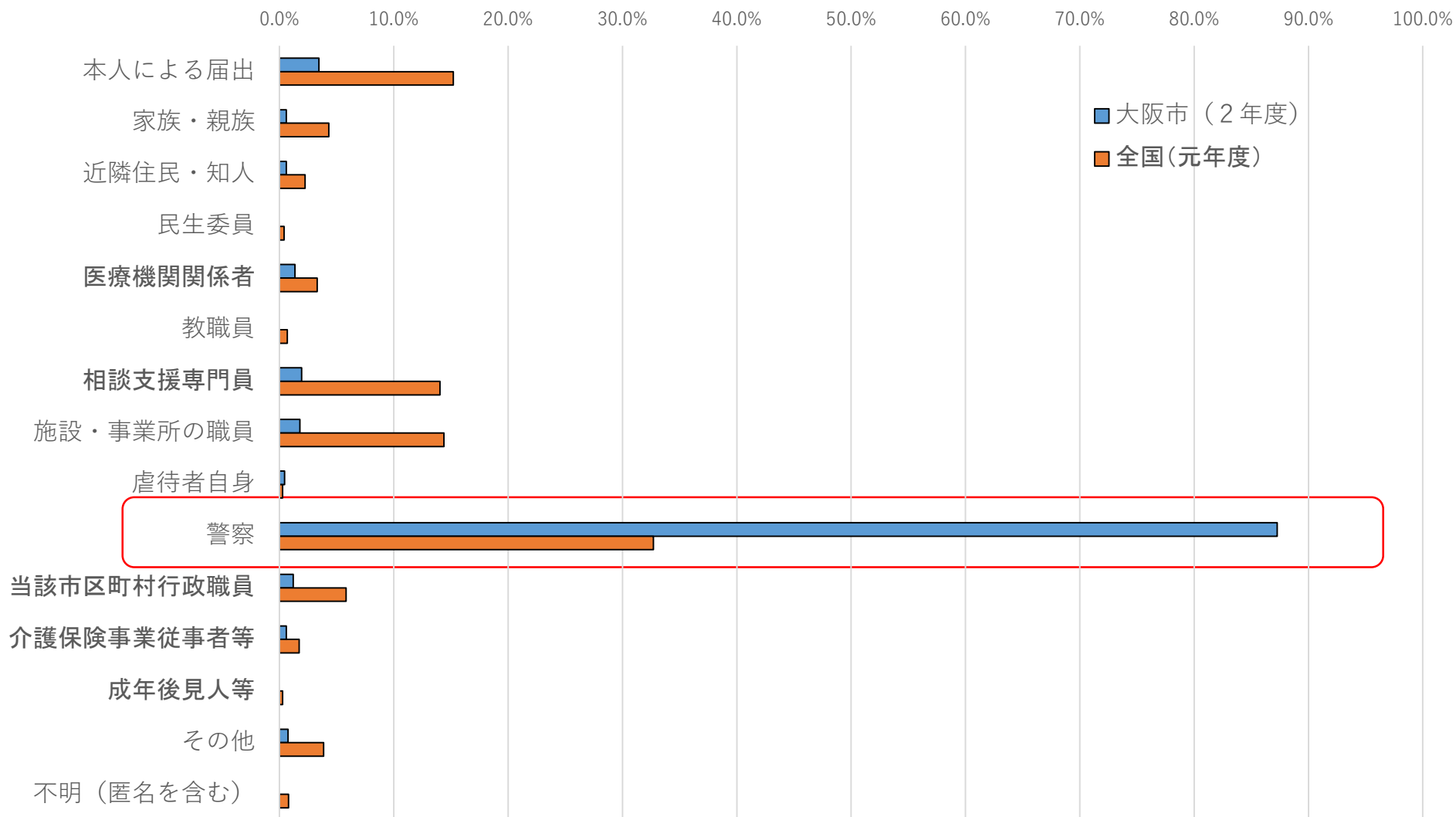
- (1) 養護者による障がい者虐待
- (2) 障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待
- (3) 使用者による障がい者虐待

(1) 養護者による障がい者虐待 ー通報・相談、判断件数ー



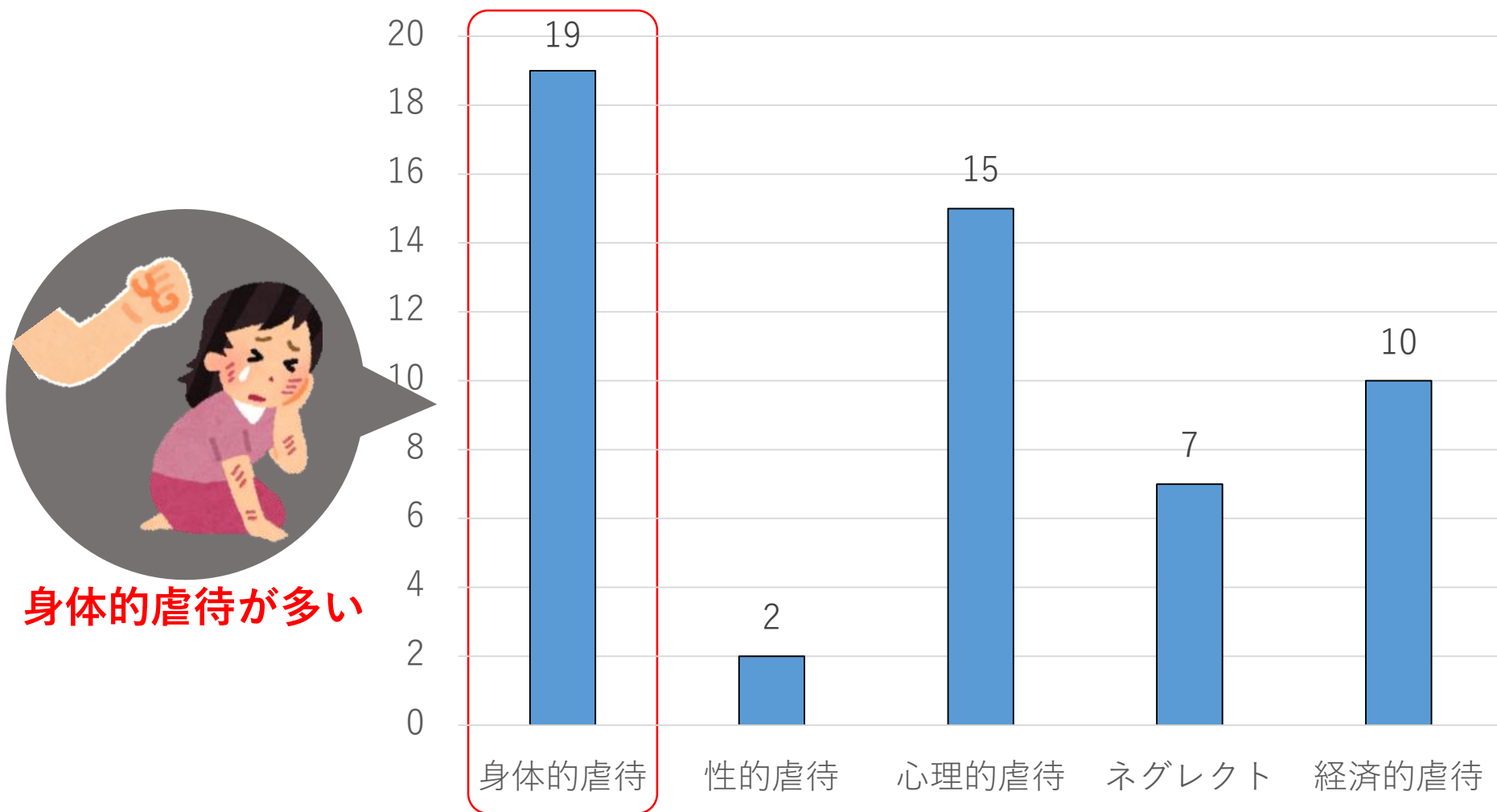
令和2年度の養護者による虐待の相談・通報・届出件数は660件、虐待と判断した件数は37件となっています。

(1) 養護者による障がい者虐待 —主な相談・通報者（重複あり）—



令和2年度、養護者による虐待の相談・通報・届出者の割合は、668件（重複あり）中、「警察」が583件（87.3%）と最も高くなっています。

(1) 養護者による障がい者虐待 —虐待類型・件数（重複あり）—

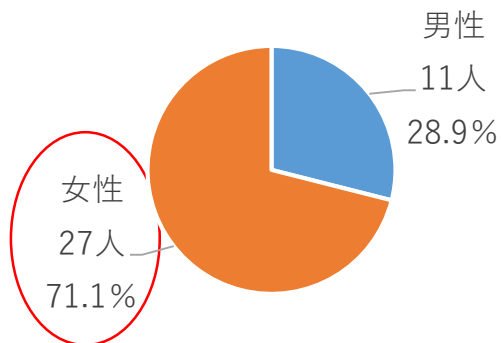


令和2年度の養護者による虐待の虐待類型別割合は、「身体的虐待」が最も多く19件、次いで「心理的虐待」が15件、「経済的虐待」が10件となっています。

(1) 養護者による障がい者虐待

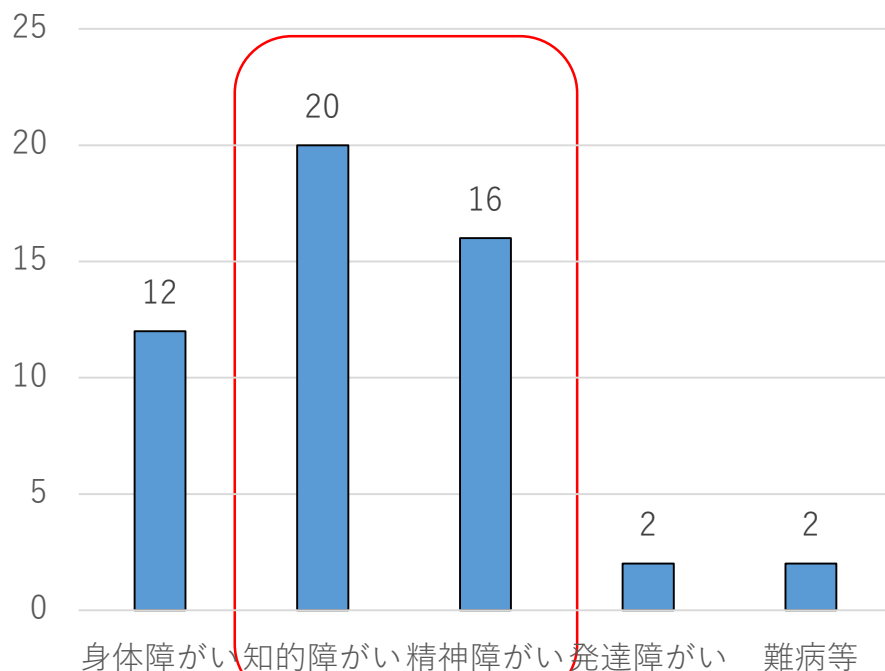
一性別・障がい種別・障がい支援区分別一

被虐待障がい者の性別

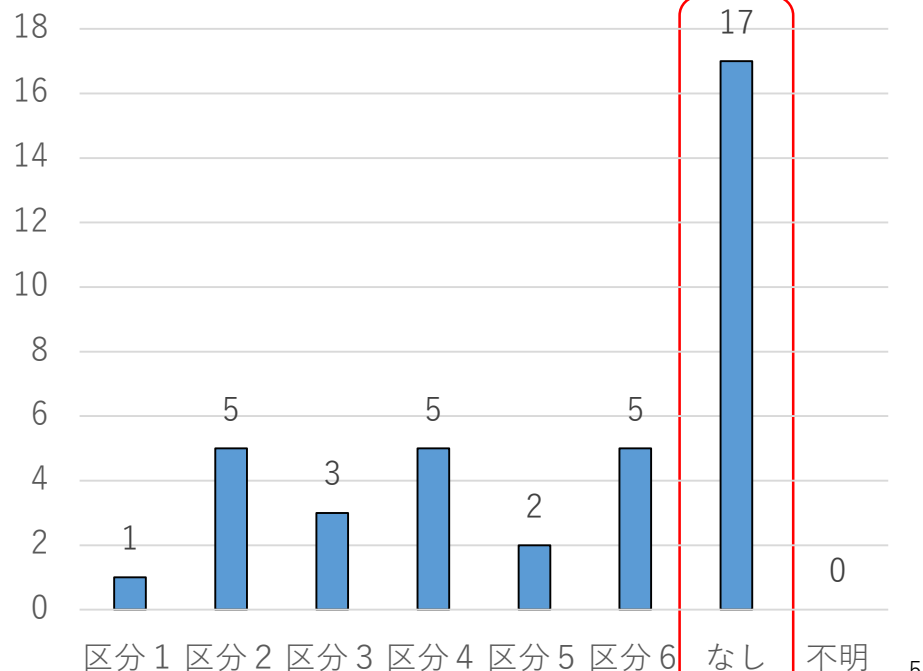


「女性」
「知的障がい」、「精神障がい」
障がい支援区分「なし」の人が多い

障がい種別（重複あり）



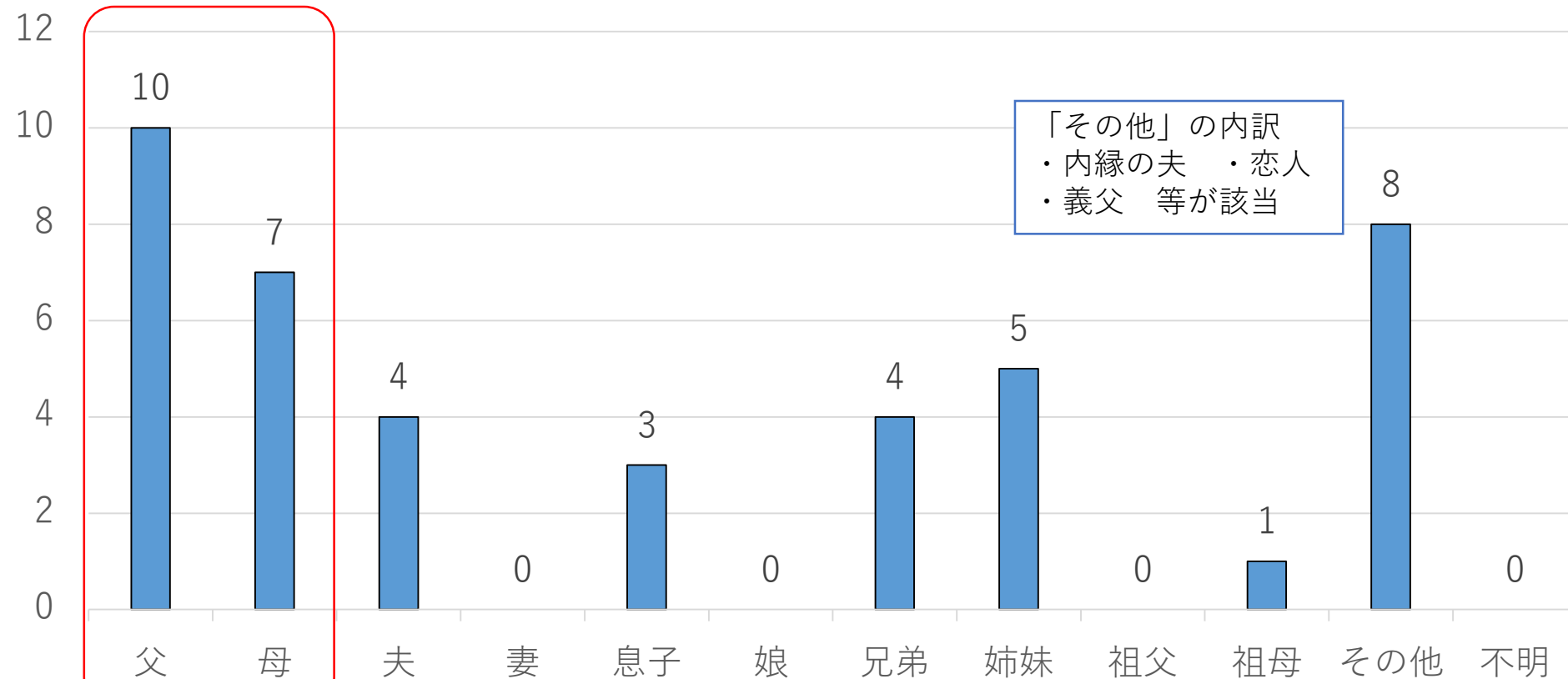
障がい支援区分



(1) 養護者による障がい者虐待 ―虐待者の状況―

父、母が多い

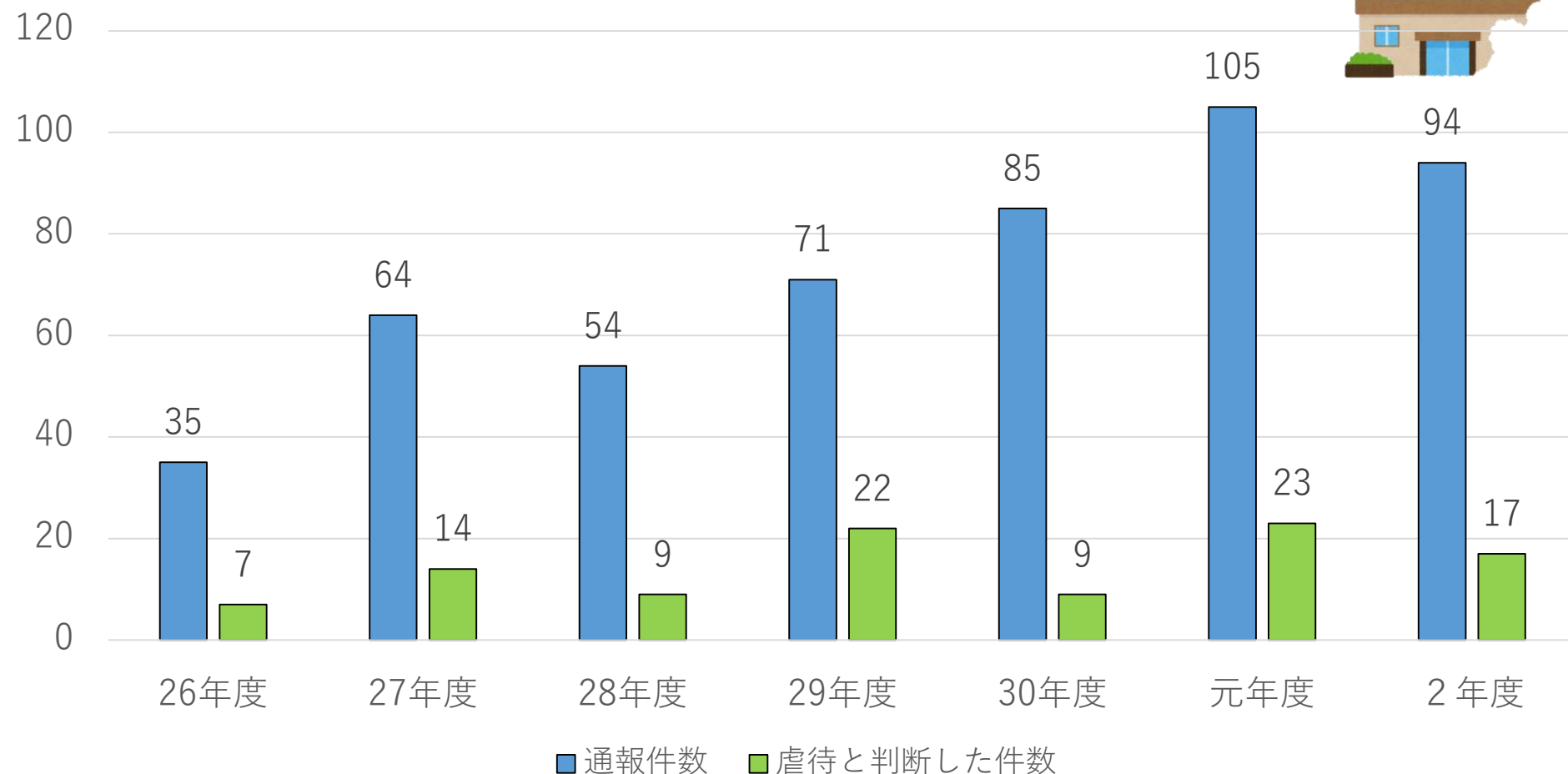
被虐待者からみた虐待者の続柄



令和2年度の養護者による虐待の虐待者の状況は、「父」が10人と最も多く、次に「その他」が8人、「母」が7人となっています。

(2) 障がい者福祉施設従事者等による虐待

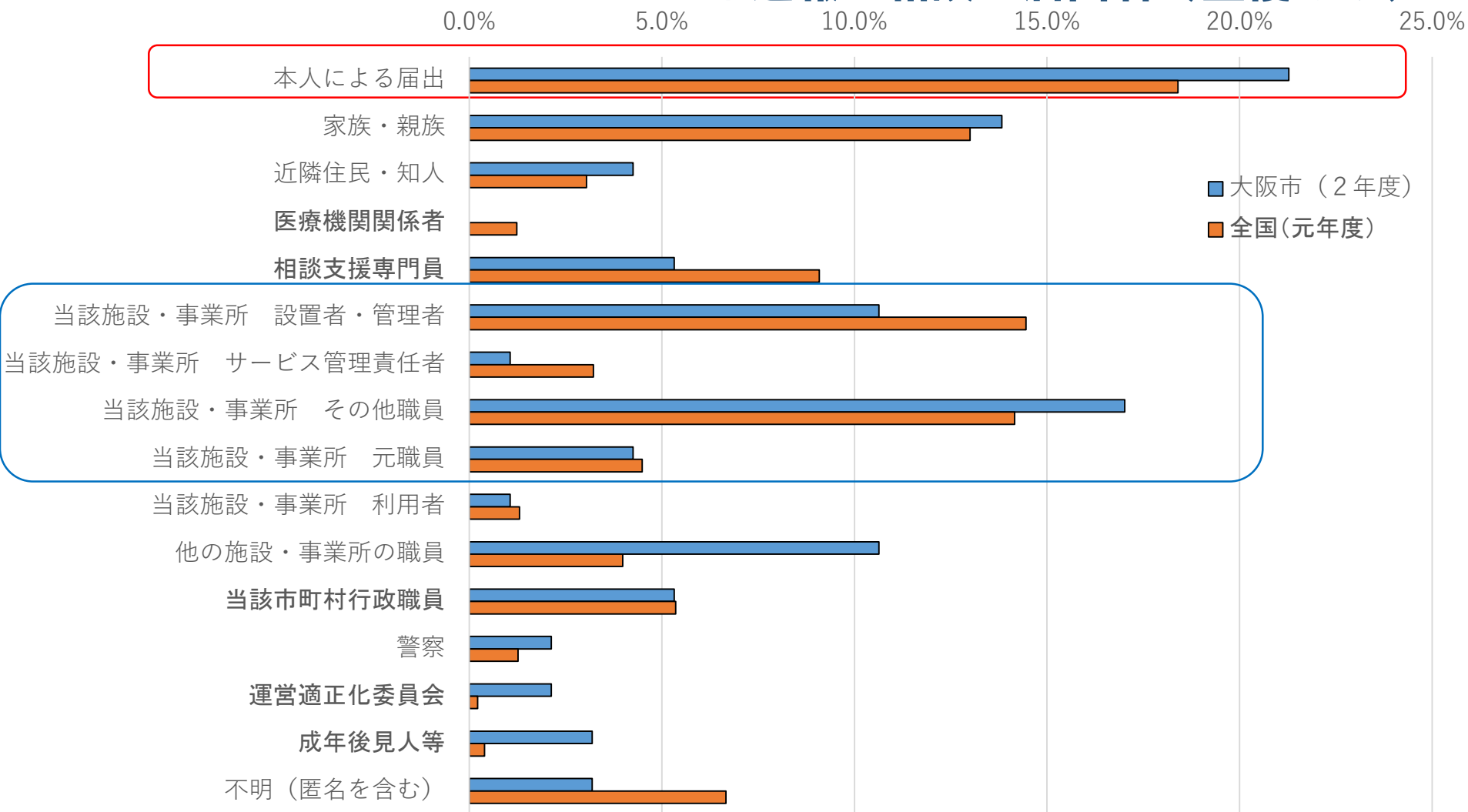
-通報・相談、判断件数-



令和2年度の障がい者福祉施設従事者等による虐待の相談・通報・届出件数は94件、虐待と判断した件数は17件となっています。

(2) 障がい者福祉施設従事者等による虐待

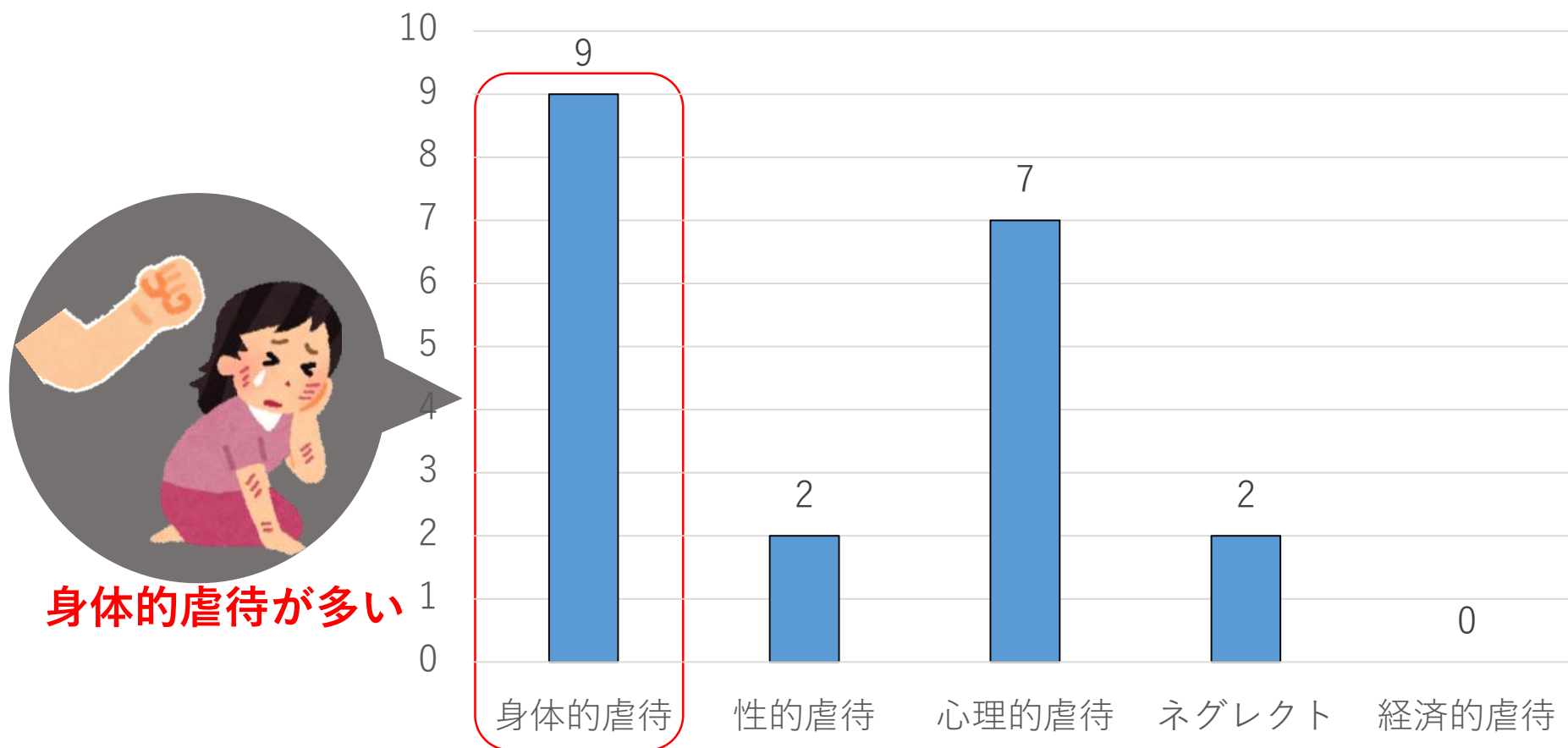
- 主な通報・相談・届出者（重複あり） -



令和2年度の障がい者福祉施設従事者等による虐待の相談・通報・届出者の割合は、「本人による届出」の割合が20件（21.3%）と最も高くなっています。

(2) 障がい者福祉施設従事者等による虐待

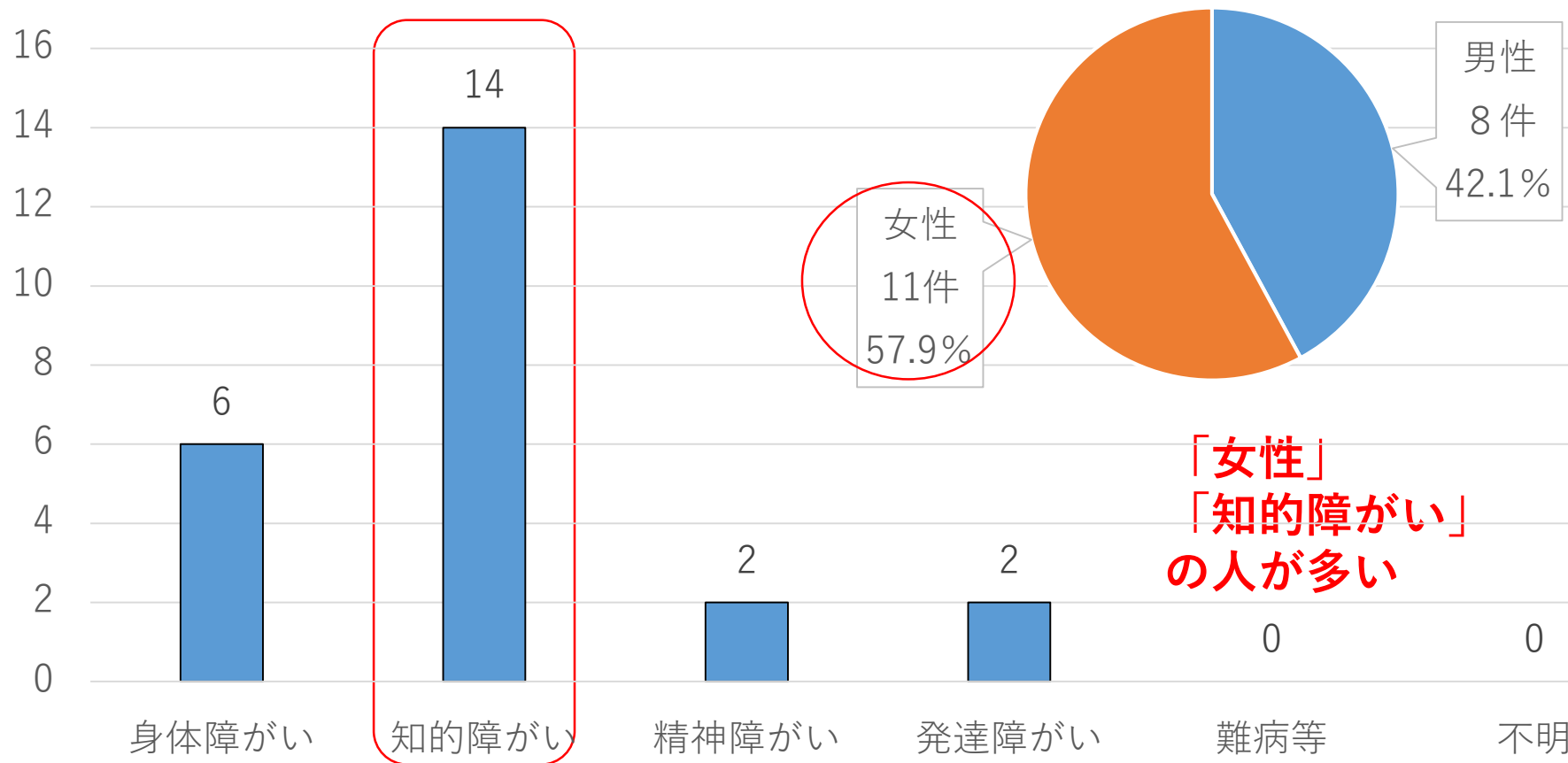
-虐待類型別件数（重複あり）-



令和2年度の障がい者福祉施設従事者等による虐待の虐待類型別割合は、「身体的虐待」が9件で最も多くなっています。

(2) 障がい者福祉施設従事者等による虐待

-障がい種別人数（重複あり）・性別-

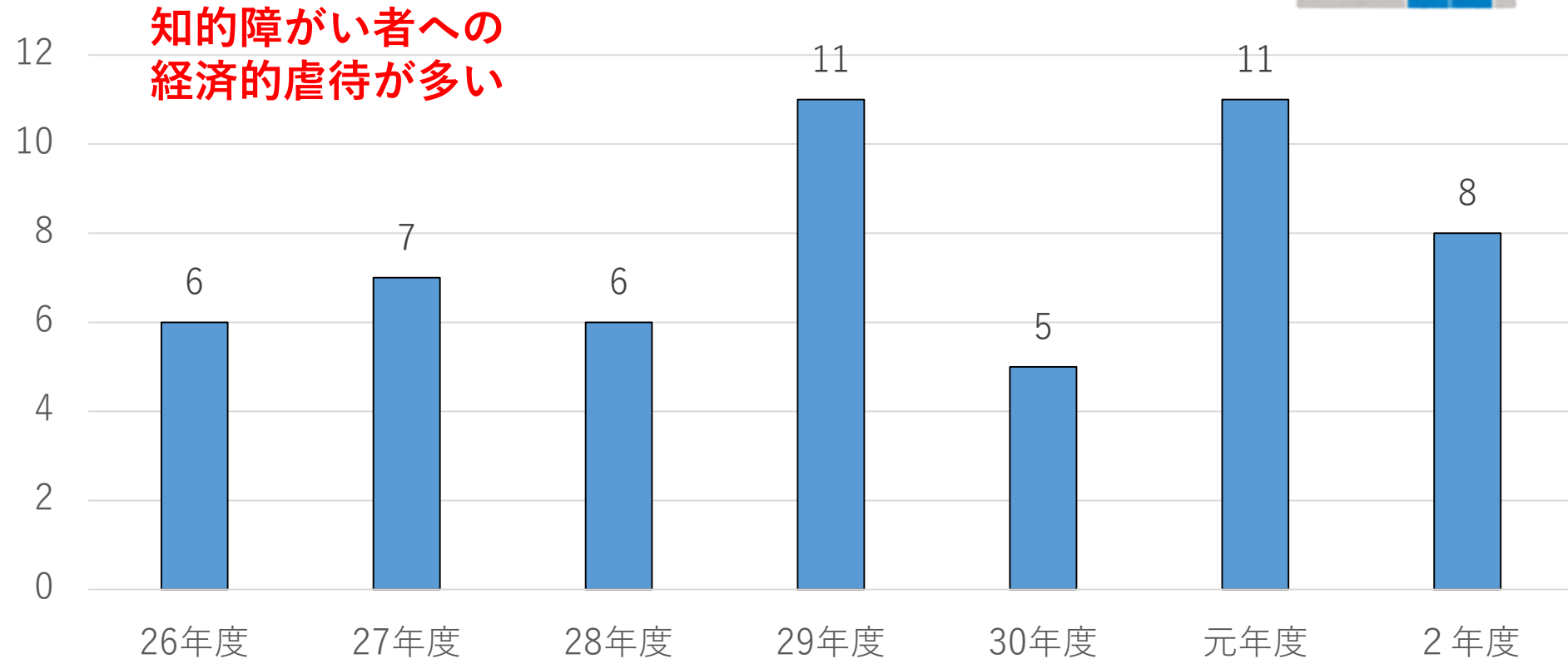


令和2年度の障がい者福祉施設従事者等による被虐待者の障がい種別は、「知的障がい」が最も多く（73.7%）なっています。

(3) 使用者による虐待 —相談・通報件数—



知的障がい者への
経済的虐待が多い



令和2年度の利用者による虐待の相談・通報・届出件数は、
8件となっています。

事例（養護者による障がい者虐待）

A氏…40歳代女性、障がい者手帳なし、障がい福祉サービスなし。

母と二人暮らし。A氏は医療機関への受診が必要だが、母の医療への不信感が強く、継続的に医療に繋がらない。→ネグレクトの認定

B氏…60歳代男性、精神障がい者保健福祉手帳3級、認知症。

B氏は施設で過ごしているが、金銭管理している娘が施設の利用料を支払わない。→ネグレクト、経済的虐待の認定

C氏…30歳代男性、療育手帳A、過去に訓練等給付利用するが、直近での利用なく、区分認定もなし。

母と二人暮らし。療育手帳の更新手続き等を行わず、勧奨するが母が拒否。母は、C氏と区職員が面会することを拒み続ける。→ネグレクトの認定